



# 令和7年度

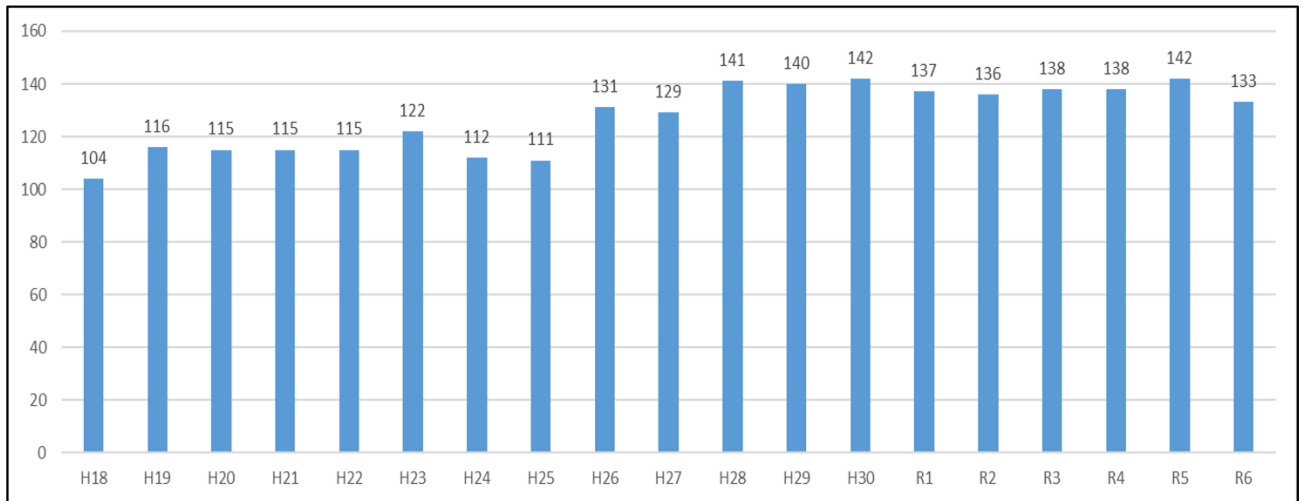
## 南城市慢性腎臓病重症化予防プロジェクト

南城市では、腎臓専門医、かかりつけ医、市の保健師・栄養士の3者が連携をとりながら適切な治療・食事療法で腎機能を安定させ、新規人工透析導入者の減少を図るための取組みを平成28年度から実施しています。



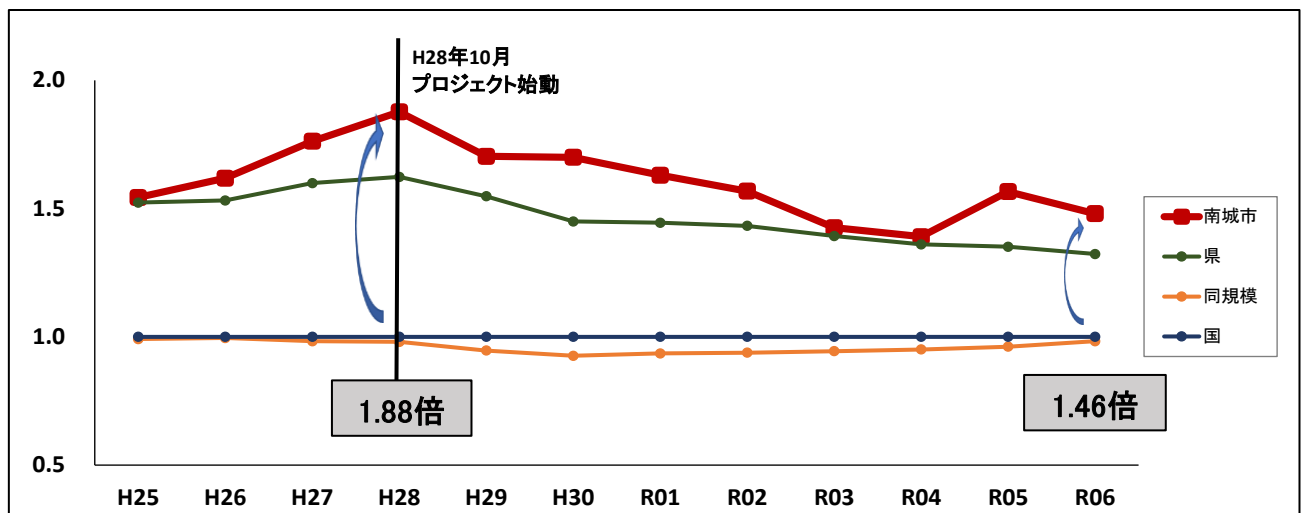
### 人工透析の状況

南城市 人工透析者数推移



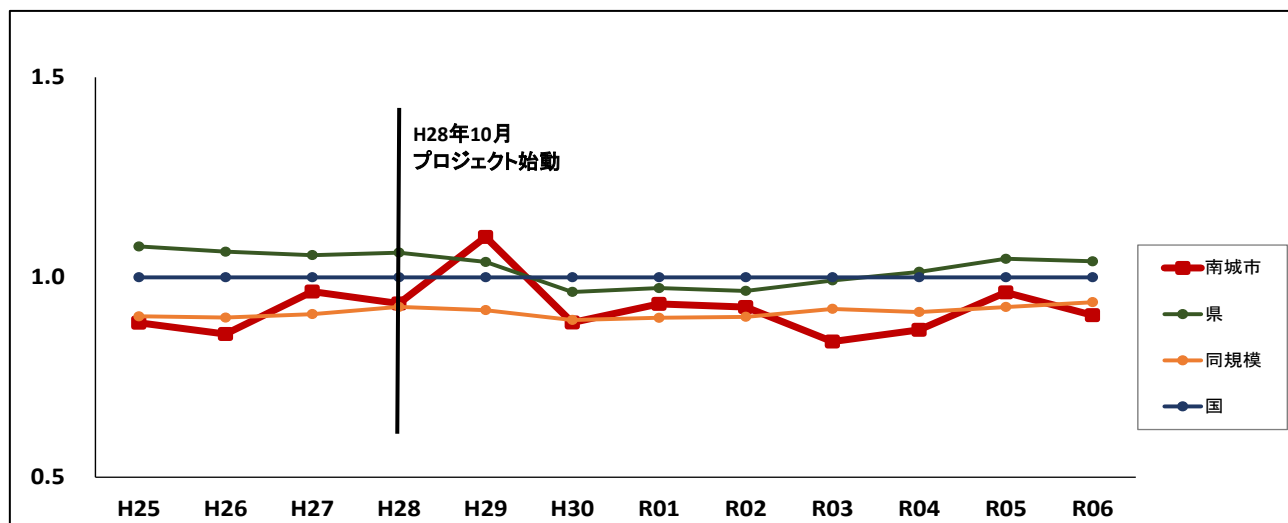
本市で把握できている全体の人工透析患者の年次推移です。H18年度から徐々に増加し、H28年度以降は140名前後で推移していました。高齢化とともに人工透析治療が必要になる人が増加すると予想されますが、R6年度は133名と全体での増加は見られていません。

国保医療費に占める透析医療費の割合 年次推移(全国の割合を1とした場合)



全国の割合を1とした場合の国民健康保険総医療費に占める人工透析医療費の割合です。H28年度の1.88倍のピークを境に南城市は継続的に減少し、R6年度は1.46倍まで国との差が縮まりつつあります。県平均並みを目標に、引き続き予防可能な生活習慣病の重症化予防の保健指導に力を入れていきます。

## 後期高齢者総医療費に占める透析医療費の割合 年次推移(全国の割合を1とした場合)



全国の割合を1とした場合の後期高齢者医療保険総医療費に占める人工透析医療費の割合です。国保同様にH25年度からH29年度に向けて増加していましたが、H29年度のピークを境に減少し国・県平均よりも低く、増加は見られていません。透析患者の高齢化による増加が予想されるため、伸び率を抑える事が今後の課題と考えられます。



## 腎臓専門医受診の割合

| 健診受診年度              | H26年 | H27年 | H28年  | H29年 | H30年  | R1年   | R2年   | R3年   | R4年   | R5年   | R6年   |       |
|---------------------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 腎臓専門医紹介基準対象者(人数) *1 | 147  | 176  | 166   | 156  | 187   | 137   | 178   | 178   | 214   | 202   | 173   |       |
| 腎臓専門医受診あり           | (人数) | 25   | 48    | 78   | 58    | 54    | 40    | 51    | 39    | 36    | 35    | 47    |
|                     | (%)  | 17%  | 27.0% | 47%  | 37.2% | 28.9% | 29.2% | 28.7% | 21.9% | 16.8% | 17.3% | 27.1% |

\*1 当事業における腎臓専門医への紹介基準

- ①尿蛋白2+以上、または尿蛋白定量0.5g/gCr以上
- ②尿蛋白、尿潜血(+)以上
- ③eGFR50未満(40歳未満はeGFR60未満、70歳以上はeGFR440未満)

腎臓専門医受診ありの割合は、事業実施前のH26年は17%で低くH28年度で47%に上がりました。その後はR4年まで下降傾向でR5年度まで横ばいで推移しています。R6年度は腎臓専門医紹介基準対象者の173人のうち、腎臓専門医受診ありは47人(27.1%)と割合が増えました。先生方のご協力ありがとうございます。引き続き、本人と先生方が相談できるように、私たちも意識して保健指導を実施し、連携を図っていきたく思います。

通院中の方で特定健診を受けていない方でも、保険に関係なく南城市民であれば役所の保健師・管理栄養士で支援可能です。先生方からの指導依頼や本人の希望があれば是非健康増進課へご連絡下さい。